

「未来の東京」戦略 version up 2022



「未来の東京」戦略（令和3年3月策定）

政策をバージョンアップし、未来を切り拓く取組を加速

バージョンアップの視点

視点① 東京2020大会の成果を都市の発展へつなげる

視点② 時代のニーズや状況変化に迅速に対応



- ✓ 新型コロナウイルスの長期化の影響
- ✓ 世界の都市間競争の激化
- ✓ 子供の目線からの政策展開の必要性



未来へつなぐ
TOKYO2020の記憶日本の総力を結集して**安全・安心な大会**を実現

- ✓ 徹底した対策で感染拡大を阻止
 - ✓ 日本の総力を結集してテロやサイバー攻撃を阻止
 - ✓ 安全で美しいまちづくりを推進
- など

TOKYO
FORWARD

大会の「**危機管理**」の取組をレガシーとして、
安全・安心な都市の実現に向け、**あらゆる災害への備えを強化**する

- 感染症対策の司令塔「東京 i C D C」の機能強化
 - 切迫する巨大地震等に備え、無電柱化を加速
 - 激甚化・頻発化する豪雨災害への対策を強化
 - テロ等への対処能力を向上
- など



無電柱化整備後（大島町波浮港地区）

未来へつなぐ
TOKYO2020の記憶

©Tokyo 2020/Kenta Harada

パラアスリートが競い合う姿に「共生社会」を実感

- ✓ 性別や年齢、人種、障害を越え、アスリートが輝いた
- ✓ ダイバーシティ&インクルージョン実現に向けた大会時の様々な取組

など

TOKYO
FORWARD

大会での“気づき”を一人ひとりのアクションへとつなげ、多様な人々が共に暮らし、互いを認め合う「インクルーシブシティ東京」を実現する

- ハード・ソフトのバリアフリーを都内全域へ拡大
- パートナシップ制度を導入
- インクルーシブな公園を拡大
- 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消

など



砧公園「みんなのひろば」

政策をバージョンアップする6つの切り口

①安全安心



都民の命と生活を守る基盤「危機管理」

②共生社会



バリアフリー「段差のない社会」

③グリーン& デジタル



自然と共生した持続可能な都市

④グローバル



世界から選ばれる金融・経済・文化都市

⑤チルドレン ファースト



子供の目線からの政策展開

⑥都政の 構造改革



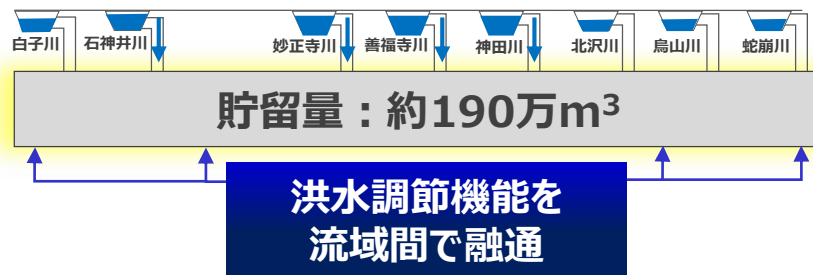
シン・トセイの加速

①安全安心

○ 豪雨から命と暮らしを守る対策を強化

✓ 目黒川流域調節池（仮称）を事業化

運用中	整備中 2016～2025年度	運用中	新規事業化 2022年度～
白子川 地下調節池	環状七号線 地下広域調節池 (石神井川区間)	神田川・ 環状七号線 地下調節池	目黒川流域 調節池 (仮称)
約21万m ³	約68万m ³	約54万m ³	約47万m ³



②共生社会

○ユニバーサルデザインのまちづくり

✓ バリアフリー基本構想等の策定や整備に取り組む区市町村を支援



道路のバリアフリー化



公園のバリアフリー化



エレベーター整備



デマンド交通の導入



ホームドア整備



人にやさしい車両



グリーンスロー
モビリティの導入

写真提供：
ヤマハ発動機株式会社



多様な利用者に配慮
した公共トイレの充実 など

③ グリーン&デジタル

○「2030年カーボンハーフ」の実現

- ✓ 新築住宅に太陽光発電設置を標準化
- ✓ 水素ステーション整備を促進
- ✓ F Cバスの導入を強力に後押し

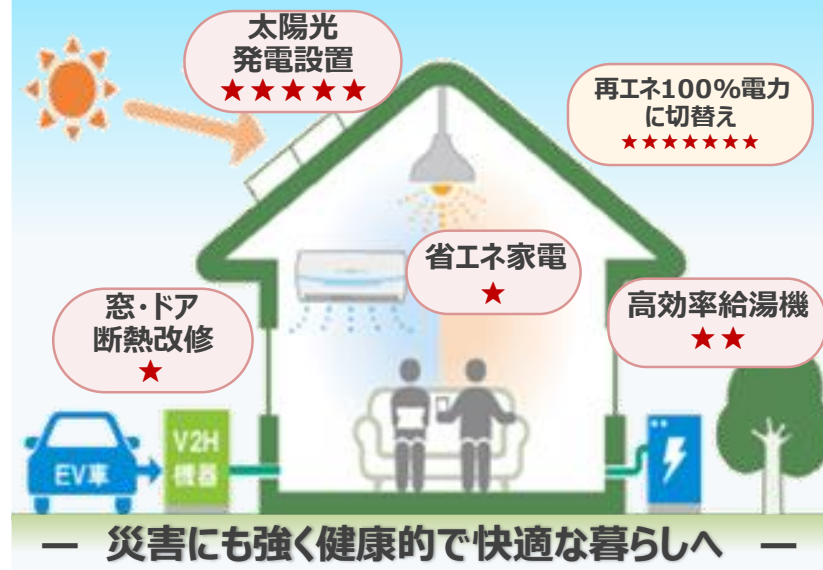
「2030年カーボンハーフに向けた取組の加速
Fast forward to “Carbon Half”」⇒



- スマート東京先行実施エリアの
取組強化
- デジタルツイン実現に向けた
基盤整備を加速

“カーボンハーフ”に向けて家庭でできること

★：1 つにつき年間で約10%のCO₂削減効果
3人世帯（年間排出量約3,000kg-CO₂）を想定



※削減効果は都環境局調査、環境省、（一社）家電製品協会HPのデータを基に試算
※再エネ100%電力に切り替え：都内家庭のCO₂排出量に占める電力割合から算出

④ グローバル

○ 東京ベイ e S Gプロジェクトの推進

✓ 最先端テクノロジーの実装に着手



最先端再生可能エネルギー



次世代モビリティ



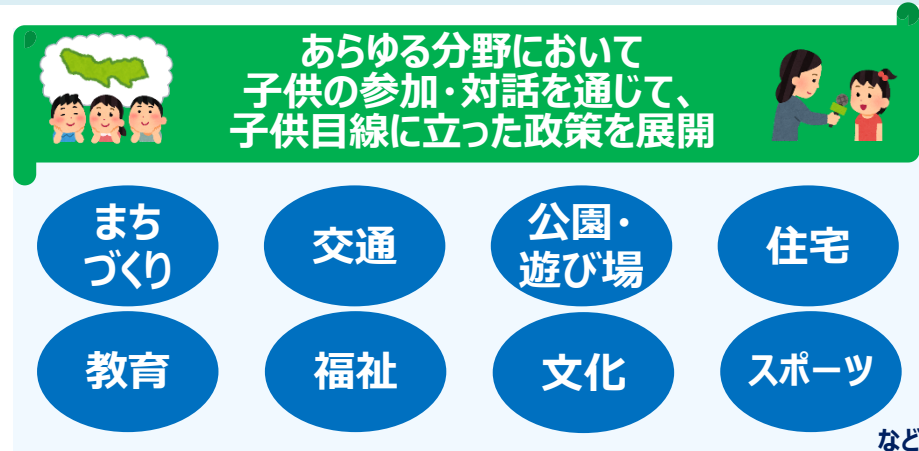
⑤チルドレンファースト

○子供の参加・対話を通じて、
政策の質を高める

- ✓ 子供目線に立ったまちづくりを推進
- ✓ 子供の意見を聴きながら政策を推進



○「こどもスマイルムーブメント」の戦略的展開



⑥都政の構造改革

○「シン・トセイ」の加速

- 01 ユーザーとの対話の徹底
- 02 QOSを徹底して数値化
- 03 働く環境を変えて、
人、仕事、組織を変える
- 04 構造的な課題に切り込む
- 05 変革をスピードアップ

シン・トセイ戦略から1年



✓ “シン・トセイ2” 5つのスタンスで改革を更に実践

